

学校五日制

四月から月二回に

深 小学校

本年度四月から第二土曜日に加え、第四土曜日も休業日とする月二回の実施となりました。

学校五日制は、生涯学習時代にむけて、学校、家庭や地域社会の教育のあり方や相互のかわり方を見直し、各々の教育機能の充実を図る中で、児童生徒が自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる資質や能力を育成することをめざしています。

そのために学校においては新しい学力観に立つ教育の推進を、家庭や地域において自然、社会、文化などに進んでかわる中で豊かな感性や社会性、たくましさや培っていくことが大切です。具体的には、一日常生活の中で子どもたちが主体的に過ごすことができる時間の確保をすすめるように配慮する。

二子どもたちの主体性を尊重しつつ、豊かな人間性が育つよう子どもたちの良き理解者として気軽に相談できる相手として積極的にいかかわる。

三子どもたちは異年齢集団の中で遊びを通して社会性を身につけていきます。性から、地域における団体活動等への参加を即す。

田植えを迎えて

J.A支所長 末脇光生

今回三原農協の人事移動により、当地深町支所に配属になりました末脇光生です。地域の皆様に喜んでご利用して頂ける農協をめざして努力して参り度いと決意しておりますので、今後共ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

五月初旬より降雨があり、只今のところ水の心配も無く、いよいよ田植えシーズンを迎え、だんだんと水田に水稲育苗が植え付けられております。作物を栽培されておられる中で雑草の除草には大変ご苦労されていることと思



そのためには、おとなの側からも子どもと一緒に活動に参加するなど、子どもが活動しやすい環境づくりを努めています。また、五月十四日に第十四回世代交流ゲートボール大会がありました。おりあしく雨でしたが、屋内体育館で尚寿会、城山クラブのおじいさん、おばあさん、そしてお父さん、お母さんと一緒に五、六年生の子どもたち三世代のふれあい交流ができました。

「第一ゲートの通し方を教えてもらったのでうまくできた」
「お父さんたちともいっしょで楽しかった。」
「年に二回でなく、もっとふやしてもいい。」
等の感想でした。

古今

高崎詩郎



初夏の夜の風物詩はなんといつても蛍狩りだった。暗くなるのを待って、団扇や箒に麦藁で編んだ籠を持ち川原へでかける。そこには、源氏蛍・平家蛍が入り交って暗闇に乱舞する。まるで、合戦をしているみたいだ。

ホーホー 蛍こい
あっちの水は 苦いぞ
こっちの水は 甘いぞ



それぞれ使用される場所により農薬の品種がありますので、農協をご利用頂き早めに除草剤を散布されることが大切です。

お世話をしてくださいます。皆様ありがとうございます。

今後も、地域、家庭、学校が一体となり生涯学習社会に向けて、生活にゆとりを持ち、豊かな自己充実に努めたいと願っています。ご協力をお願い申し上げます。



ホーホー 蛍こい
と、あちこちで大声をあげながら蛍を呼ぶ。中には、いくら揺っても明りは変らないのに籠を大きく振っている者もいる。そして、もの三分もすると、籠が明るくなる程採れる。今はどうか。昆虫綱に虫籠、それに長靴と準備は万全。だが、肝心の蛍がいな

い。いても、小さな平家蛍や姫蛍ばかりでつまらない。昔はあんなにいた蛍がなぜいなくなつたのだろう。小学館の百科辞典に「蛍の幼虫は水生で淡水産のカワニナなどの巻貝を食べ、卵、幼虫、さなぎも発行する」とある。その幼虫の餌のカワニナが少なくなつたからである。それは、戦後、人体にも影響するような強い農薬を何年にもわたって使つたのが主な原因らしい。カワニナばかりか、ドジョウもゲンゴロウやタガメなどの水中生物も急に姿を消してしまつた。今は強い農薬は使用禁止になつて、農薬は一度失つたものは容易に元にかえらない。

今から三十年程前までは、どの家も蚊帳を吊って寝ていた。蚊帳の中へ蛍を放し電気が消すと、闇の中に蛍火が点滅する。幻想的な世界の出現。それを見ながら眠りに就いたものだ。

人寝てて 蛍飛ぶなり
蚊帳の中 子規
今は、その蚊帳もない。私は採ってきた蛍を庭へ放ち、しばらく見つめる。蛍は、小さな光の尾を引きながら闇間に消えていく。

尾道の三成地区では、蛍の住む川をとりもどそうと、六月中旬に「藤井川の夕」を催し、川をきれいにする運動を進めている。本年は第十九回目だが、少しずつその成果が出てきている。要は住民の意識の問題である。

以前のようには、私だけの郷愁だろうか。

- ☆ 水野秀彦様 高下 育
- ☆ 中川卓司様 東峰 育
- ☆ 村田俊博様 東峰 育
- ☆ 土居耕治様 東峰 育
- ☆ 宮本弘様 四班 育
- ☆ 宇江一成様 四班 育

町内各種団体行事予定

- ★ 小学校
- ▼ 田植え三日
- ▼ 修学旅行 八・九日
- ▼ 平和映画鑑賞 会一六日
- ▼ 参観日二〇日
- ▼ プール開き二三日
- ★ 女性会
- ▼ 親睦会上一七日
- ▼ 中日・下二日
- ▼ 一日旅行あ やめ荘二五日
- ▼ 県道ゴミ拾い一日
- ▼ 朝七時
- ★ とも会
- ▼ ソフトボール大会四日

年月	総人口	世帯数	児童
94・4	900	294	46
94・9	916	300	48
95・4	944	309	58

ハルマゲドン、はどんな味？という程度のわたしの知識では、オウム論評は不可能だが、安全な日本国に何故？の疑問符が投げられたのは事実である。▼出家信者の平均年齢二七歳余。

展望

指導者は三〇代半を中心とする理系大・大学院出身という顔ぶれである。九四年六月松本、今年三月東京地下鉄サリン事件関連。五月一六日麻原代表逮捕。▼最近耳にした一連の新語？の一部。イニシエーション。カタストロフカルト。パルチャル。スピリチュアル。メルセルホス酸ジイソプロピル等の化学薬品名に至ってはチンパンカンパンである。▼悩める者を救うはずの宗教が、何故無差別テロに走ったか。識者の高説を聞いても納得には程遠い。現代社会に生きる我々の心の歪みがこんな形で現れるとしたら：：：空恐ろしい。社会に責任を転化する前に、自分自身に欠けたものは何かを考えてみたい。

ふかまちのまど

第一四号 増ページ

ボカシ作りの講習 (I)

女性会々長 金重八重子



先月案内しましたボカシ作りの講習会（講師は農業士平川敦千氏）で習得しました一端をご報告します。はじめにボカシに使われるEMについてお話があり、後ボカシ作りをしました。EMは自然界に存在する微生物の中から、作物生産に有効八十種類以上の微生物群を選び出して複合した培養液で、十三年前に発見されたそうです。このEMを土に入れることにより、土の持つ力を十分に発揮させ、植物が健全に育つ環境を作り出すこと、その他、家庭の生ゴミ処理や悪臭の緩和などにも役立つことを、具体的にお話くださいました。

岐阜の田口さんがナスの木一本で二三六個の収穫を記録。平成三年の夏の長雨と日照不足の時も、山形の高橋さんは、反当九俵の収穫を得、現在二〇数俵を目標に取り組んでいる等、大変興味深く聞きました。

◆ボカシ材料

- 米ぬか 三〇KG
- 苧殻 三KG
- 井戸水 四・六L
- 糖みつ 四六CC
- 糖みつ 四六CC
- EMI 四六CC

◆作り方

- ①糖みつを少量のお湯（五〇度位）で溶かした後水を加え、その後EMIを入れおく。
- ②たらいかビニールシートに米ぬかと苧殻を入れて



- ③よく混ぜ合わせる。
- ④①の液をジョロでかけながら玉にならないように再度混ぜ合わせる。
- ⑤夏で七〜一四日経て甘酸っぱい乳酸発酵臭がしてくると出来上がり。▲▲

▲▲ 関心のある方、資料がありますのでお借しします

蛾一匹であや大事故

兼長和幸

先日の出来事である。車の窓を開けて走っていると、蛾が一匹車内に迷い込んで来て運転の邪魔をするので、左手でこれを追い払

梅雨一首

おうとしていました。すると知らず知らずのうちには車は対向車線にはみ出し、見通しのきかないカーブから現われた対向車が目前に！。お互い急ブレーキをかけて難を逃れたものの本当に危ないところでした。私が車を止めて蛾を追えば、このような危険な事にはならなかったと深く反省しています。これから夏場にむけてだんだんと昆虫の数も増えて来ますので、町内の皆様も私のような事にならないように安全運転に努めて下さい。▲▲

梅雨近きくもり空なる
この夕べ
稚き声に鶯鳴くも

梅雨の雨二日続きて
畑作も
湿りゆたかに蘇りたり